

ドリーム ちゅうおう

3

DREAM CHUOH
MARCH 2021
No.278



今年も
おいしいイチゴが
できました!!



今月号のCONTENTS

- 02 特集
- 04 ～次代を担う～ & 旬感!きらり人
- 05 青壮年部・女性会の活動紹介 & 地域情報発信室
- 06 トピックス
- 15 JA information
- 16 直売所探検隊「楽市楽座」
- 17 あなたもチャレンジ! 家庭菜園 & JAイベント情報
- 18 読者からのお便り紹介/川柳
- 19 旬を食べちゃおう! おうちでごはん
- 20 クロスワードパズル

鳥取県には
「章姫」をはじめ、
オリジナルブランドイチゴ
「とっておき」もあるよ!
じい～つくりと甘みの乗った
おいしいイチゴ!
みなさんぜひ
食べてみてね♥



鳥取いちごブランド化推進協議会

主要特産物販売実績

で終了しました。コロナ下での生産、販売と過去にない状況でしたが、各品目で

績と販売結果の要因や背景について、各部会長のコメントと共に振り返ります。

スイカ



鳥取県中部は全国でも有数のスイカ産地の一つです。

2020年産のスイカは、前年よりも出荷の始まりが早く良いスタートがきれ、サイズも例年並みの大玉に仕上がりました。

コロナ下の販売ということで例年行っていた試食販売ができない中、WebやSNSを駆使してPR活動を行いました。

市場との連絡を密にして計画的に出荷できたこともあり、6月～7月上旬まで引き合いが強い中での販売を継続できたことから、19年ぶりに33億円の販売金額を突破しました。

栽培農家戸数	360戸
栽培面積	265ha
出荷数量	1万4,482t
販売金額	33億1,423万2,000円
1kg当たりの単価	229円
10aあたりの販売金額	124万9,710円



← 19年ぶりに
33億円の達成

← 過去最高

← 過去最高

「2020年は33億円という快挙であり、歴史的な年になりました。今後も鳥取スイカの品質向上、安定出荷に産地一丸となって取り組み、更なる高みを目指します」



JA鳥取中央
西瓜生産部
山脇篤志部長

梨



日本一の出荷量を誇る「二十世紀」をはじめ、7月下旬から12月にかけて約20品種の梨を栽培しています。

2020年産は交配に苦勞する年となり、例年よりも若干小玉傾向でした。スイカ同様に試食宣伝活動ができない中、人気ユーチューバーを起用した動画投稿やSNSで梨プレゼントキャンペーンを行うなどPR活動を行い、新規ファンの獲得にも力を入れました。

全国的にも小玉傾向だったこともあり、期間全体を通して引き合いが強く、ほとんどの品種で1kg当たりの販売単価が過去最高を記録しました。

栽培農家戸数	551戸
栽培面積	247ha
出荷数量	4,249t
販売金額	23億1,047万3,000円
1kg当たりの単価	544円
10aあたりの販売金額	93万6,552円



← 過去最高単価
12品種過去最高単価更新

「2020年は対面での販売促進ができずに心配しましたが、高単価で販売が終了し安心しました。2021年は国、県、町の政策を最大限に活用しながらとにかく出荷量、面積を増やして、次世代につながる梨産地にしたいです」



JA鳥取中央
梨連絡協議会
寺地政明会長

2020年度

JA鳥取中央



JA鳥取中央の2020年度の青果物と畜産を合わせた販売実績は166億円
それぞれ試行錯誤し乗り切ることができました。

今月号の特集では、主要特産物のスイカ、梨、ブロッコリー、和牛についての成

ブロッコリー



ブロッコリーは3年連続で面積を伸ばしている勢いのある品目です。

2020年産の春ブロッコリーについては、暖冬で順調に生育が進み、ほ場での出荷ロスも少なく上半期最高の出荷量を記録しました。秋冬ブロッコリーでは夏場の高温により定植、活着に苦勞し、年末の降雪で若干の品質低下が見られましたが、生育期間中は台風、長雨も少なく順調な生育となりました。コロナ下の巣ごもり需要の影響もありスーパーなどでの販売が進んだことで単価が安定的に推移したものの、後半戦は全国的に一斉出荷となり販売に苦勞する年となりました。

今後は4月から稼働する共同出荷施設を活用しながら面積の拡大を図っていきます。

栽培農家戸数	166戸
栽培面積	187ha
出荷数量	148t
販売金額	4億8,800万円
1kg当たりの単価	327円
10aあたりの販売金額	26万円

←3年連続で
増反中！



「2020年度は干ばつなど天候に苦勞した年でしたが、4億円を超えることができました。2021年は管内全体で生産振興に力を入れてブロッコリーの一大産地を目指します！10aからでも始めてみませんか？」



JA鳥取中央
ブロッコリー生産部
寺岡昌一郎長

牛



白鵬85の3

鳥取県は全国でも有数の畜産産地の一つです。

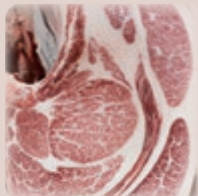
2020年度の黒毛和種市場取引価格ランキングでは初の全国1位を獲得！2017年に開かれた第11回全国和牛能力共進会では肉質日本一に輝いています。

2020年度は新型コロナウイルスの影響で枝肉相場が低迷し子牛の取引価格が心配されましたが、母牛の飼育頭数も2015年から650頭増、市場への出荷頭数は5年連続で増加しています。

今後も産肉能力の高い血統として人気のある鳥取県種雄牛「白鵬85の3」を中心に畜産振興に力を入れていきます。

飼育頭数(母牛)	1,500頭
出荷頭数	1,007頭
販売金額	7億3,996万円
1頭当たりの単価	73万5,000円

←5年連続増加中！



「コロナで枝肉価格は低迷していますが子牛価格は順調に推移しています。2021年もこのままの勢いで購買者から喜ばれる牛を引き続き育てていきたいです。」



JA鳥取中央
和牛生産部
内山茂昭部長

へ次代を担うへ

農業の楽しさを子どもたちへ

琴浦町 梨、米生産者 上向 信之さん(40)

かみ むき のぶ ゆき

今回ご紹介するのは、上向信之さんです。
「子どもの頃からずっと梨の栽培は、生活の一部でした。実家は梨農家で進学は県立の農業高校、更に県立農業大学の果樹科で2年間学んだ後、北栄町にある園芸試験場に約8年間務め経験を積みました。自然と触れ合うことが好きで、黙々と1人で作業することも得意だったので仕事として農業を選ぶことに迷いは無かったですね」と話す上向さん。現在はお父さんと共に梨約1.7ha、米約30aを栽培しています。

「始めたころは色々な栽培方法があつて、戸惑うこともありましたが、自分に合ったやり方を見つけるとやっぱり梨作りは楽しいと思えました。毎年同じようにはならない奥深さも魅力の一つですね。今後の課題は、梨の品種ごとに特性を考えながら忙しい時期が重ならないよう品種構成を考えていきたい」と農作業の合理化を目指した体制作りに励みます。スマート農業の導入には関心を寄せながらも「栽培技術の向上を図るには、毎日現場に通って果樹園全体を観察することが大事。最後はやはり人が手をかけることで良い梨に仕上がると思う」と生産者としての感性を大切にしたいという思いがあります。

「満足できる梨が収穫出来て、子どもたちが『おいしい』と笑顔で言ってくれるとそれが励みになり、やりがいですね」と生産者としてだけでなく、父親としても充実した日々を過ごしている様子が伺えます。時間があると2人の子どもたちとよく遊びに出かけるという上向さん。「子どもたちには仕事ばかりしていると思われたくないんですよ。いつも仕事に追われていたから農業の楽しさをわかってもらえないですから。将来、子どもたちには好きな仕事に就いて欲しいと考えていますが、一緒に農業ができればすごく嬉しいですね」と思わず本音がこぼれる上向さん。これから頑張ってください。応援しています。



奈良漬小玉西瓜部会 部会長

山本 雅さん(65)



奈良漬小玉西瓜部会は13戸の生産者が1.21haで、加工用小玉スイカ「源五兵衛西瓜(げんごべえすいか)」を栽培しています。「源五兵衛西瓜」は湯梨浜町泊地区を中心に栽培されており、「とまり漬」の原料となっているスイカです。

「源五兵衛西瓜」の魅力をお聞きすると、「初期投資が少なく、他の作物に比べて簡単に始められ、また定額買取なので安定した収入に繋がります。品質面では漬物用スイカのため、糖度が必要なく栽培が簡単なこと等、有利な点が多くあります。また、畑以外にも砂地や転作田で栽培ができることから、遊休農地対策にもなります」と話す山本部会長。

部会では初心者のための栽培マニュアルも作成しており、山本部会長は「これから農業を始めるといふ初心者の方や定年退職後の方にもとてもおすすめの品目で、退職後の生きがい」としても取り組んでもらえると嬉しいですね。現地で説明等も行いますので、ぜひ始めてもらいたいですね。泊の特産である伝統野菜を絶やすことのないよう栽培し、生産者も増やしていきたいです」と意気込みを話していただきました。



女性会

各支部の活動を 紹介します!!

青壮年部



2/20

焼肉のタレ作り ～フレッシュミズ部会～

女性会フレッシュミズ部会は北栄町で研修会を開き、焼肉のタレ作りを行いました。

研修会はフレッシュミズ会員とフレッシュミズOGが合同で行い、6人が参加しました。

山田繭子さんを講師に迎え、リンゴやタマネギ、ニンニクなどを使って体に優しい手作りの特製タレを完成させました。

焼肉のタレは1人2本ずつ持ち帰り、参加者からは「作ったタレを使って早速自宅で料理したい」、「みんなで作ると早いし楽しい」といった声があがっていました。



特製の焼肉のタレが出来ました♡

2/10

第23回通常総代会

第23回通常総代会を行い、青壮年部盟友、JA関係者ら約30人が参加しました。総会では2020年度活動報告、2021年度の計画について協議。遊休農地に花を植える「花いっぱいプロジェクト」活動の継続や青壮年部の活動を知ってもらう場づくりを行うことを確認しました。

役員改選では引き続き琴浦支部の真山一郎さんが委員長に就任し、「できることを積極的に活動していきたい」と話しました。



あいさつする真山委員長

地域情報 発信室

三朝町 ^{やす だ} 安田 ^{ち あき} 千秋 さん (71)

今回ご紹介するのは、三朝町在住の安田千秋さんです。

安田さんは服飾専門学校を卒業後、洋装店へ就職し、婦人服を仕立てる技術を磨きました。その後は独立をし、指導員としての資格を習得。現在は、仕立ての他、洋裁手芸教室を開き活動が続いています。「子どもの頃に母が洋服などを縫ってくれたことが裁縫を始めるきっかけになったんだと思います。母が夜遅くまでかかって作ってくれた手作りの服は『愛情や優しさ』、『母への感謝の気持ち』など様々な思いが心に残る特別な品でした」と当時を懐かしむように話す安田さん。今までに制作した人形や小物、洋服は数千点以上にものぼり、そのほとんどは知人などへプレゼントしたり、町内の図書館や作品展、倉吉市内のギャラリーなどに展示されてきました。

「元々手を動かすことが好きなんです。教本や人の真似はせずに、応用を利かせながら独自の作品として仕上げるように心掛けています。知人から不要になった着物などを頂き、洋服や小物へリメイクしていきます。生地が段々と立体的になっていき、新たに命を吹き込まれて形になっていく過程を体験できるのが魅力ですね。既製品を単に渡すのではなく、プレゼントする相手のことを想いながら一針一針気持ちを込めて作り上げていくんです。そういった想いも一緒にプレゼントできるのが手作りの良いところですね」と話す安田さん。「リメイクすることでまた人から喜んでもらえたり、大切にもらえることが嬉しいですね」と笑顔を見せます。

何でも簡単に手に入る今の世の中だからこそ、安田さんの作品が伝える「物を大切にする心」、「人を思いやることの大切さ」というメッセージに共感する人も多いのではないのでしょうか。どんな時代になっても「手作りの温かさ」、忘れないようにしたいものですね。



1/28 赤碕エリザベスメロン総会

赤碕エリザベスメロン生産部は琴浦町で総会を開き、生産者、行政、JA関係者らが参加しました。

2020年度事業報告、2021年度事業計画などを協議し承認されました。

2020年度は出荷数量15.4t、販売金額937万円でした。今年度は天候もよく順調に生育し、糖度も安定しており甘くておいしいメロンが出荷できました。

2021年度は収量・品質の向上と安定化を図り、1.3haで15.6t、1,006万円の出荷、販売を目指します。



総会の様子

2/4 椎茸生産部総会

椎茸生産部は総会を開きました。

総会では2020年度の表彰を行い、しいたけ広域共選優良生産者に米田一成さん、しいたけ管理技術コンクールほだ木造成の部に金田嘉章さん、ほだ場管理の部に渡邊由佳さんが選ばれました。

2021年度は18人の生産者で栽培し、原木しいたけ生産量増大と生産者の確保対策を図り、ハウス栽培などの普及、生産技術の向上に努めていくことなどを全体で確認しました。



総会の様子

19年ぶり21億円突破！大栄西瓜

大栄西瓜組合協議会は2020年産の販売実績が数量、金額ともに前年を上回る59万9,000箱(1箱15.5kg)、21億1,300万円を記録しました。21億円超えは19年ぶりとなりました！

2020年産は交配に苦労する年となりましたが、品質管理の徹底により出荷当初から品質も安定し、産地情報に基づいた事前商談で売り場をスムーズに確保することができました。2020年度成績優秀者として荒木秀作さん(スイカ)、福光康男さん(スイカ)、加藤収治さん(蔬菜)が表彰されました。



左から山脇篤志会長、荒木さん、福光さん、加藤さん

2/19 奈良漬小玉西瓜部会令和2年度総会

奈良漬小玉西瓜部会は、湯梨浜町で総会を開き、生産者、JA関係者ら15人が参加しました。

2020年度事業報告、2021年度事業計画などの議案が全て承認されました。

2020年度は13戸が1.21haで栽培し、出荷数量14万637玉、販売金額454万7,551円でした。前半は出荷量が伸び悩んだものの、7月後半から天候が回復し出荷量が増加したことと9月に入ってから出荷があり、昨年より多い出荷玉数となりました。

2021年度は出荷数量15万8,000玉、販売金額506万7,850円を目指し、栽培面の改善、収穫作業の強化やハサミ入れなど収穫管理を徹底し、最後まで粘り強く出荷を行います。



総会の様子

1/19 自己改革実践トップフォーラム



講演する栗原組合長

栗原隆政組合長は、JA全中が行う「自己改革実践トップフォーラム」中四国ブロック代表として「JA鳥取中央が誇る『農業の実現』に向けて」と題して実践事例報告を行いました。

当JAのこれまでの実績や今後の展望などを発表。コロナ下での開催ということで、Web上で事例発表となりました。

このフォーラムは全国のJAの優良事例を紹介し、共有することで自己改革に対する意識を高めることを目的としています。

2/1 北栄ドリーム農場加工用イチゴ出荷開始



規格に合わせて箱詰め作業をする地域おこし協力隊員

（株）北栄ドリーム農場は2月1日から2021年産の加工用イチゴの出荷を始めました。メーカーが希望する用途に合わせた規格で出荷。5月下旬までに昨年の1.3tを上回る出荷を目指します。取引があるのは、大手菓子メーカー「不二家」と洋菓子を製造する「ハットトリック」、倉吉市の「とみや冷蔵」の3店舗。ケーキの上に飾るイチゴや、イチゴ大福に使用するものなど用途は様々で、使用するイチゴ「紅ほっぺ」は、酸味があるため甘いケーキと相性が抜群です。不二家ではショートケーキの上に乗せるイチゴとしてS、M規格を2日に一回のペースで一回に約1,600粒出荷。一つ一つ手作業で形や色、大きさを選別しトレーに詰めて出荷しています。

2/4 共済推進大会



がんばろう三唱で意志の統一を図りました

JA鳥取中央本所にて共済推進大会を開き、2021年度の共済推進目標である760万ポイントの必達に向けて、組織一丸となり、取り組むことを確認しました。

JA役職員ら約80人が参加し、情勢報告や早春推進の取り組み、優待複合渉外体験発表などを行いました。各支所の支所長による決意表明も行われ、がんばろう三唱で参加者全員が意志を統一しました。

栗原隆政組合長は「全支所揃っての早期必達に向けて役職員全員のチーム力を発揮し、全力で頑張ってください」と激励しました。

2/2 年金友の会会長会



会長会の様子

JA鳥取中央本所にて年金友の会会長会を開きました。2020年12月末貯金残高実績や、2020年度年金口座実績についてなど報告。年金友の会活動実績については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、毎年開いていたグラウンド・ゴルフ大会を中止したことや、年金相談会の開催について報告しました。2021年度は会員特典である誕生月にケーキのプレゼントは引き続き行い、さらに、誕生日翌月から1か月間JA鳥取中央管内の直売所（5店舗）で使用できる5%割引カードを進呈することなど、今後の活動について意見交換しました。



2/2 雪害支援に感謝



トラックに積み込まれる農産物

年末年始に降った大雪の影響で白ネギなどの農産物に降雪被害が出たことを受け、JA鳥取中央と取引のある企業から雪害支援をしていただきました。

白ネギ130箱(1箱3kg)、ブロッコリー32箱(1箱6kg)、イチゴ「紅ほっぺ」500パックの合計30万円分を買い取っていただきました。

買い取っていただいた農産物は社員食堂の材料として活用いただいたり、社員さんに配布していただき、鳥取中央農産物をPRしていただきました。

2/1 三朝神倉大豆で節分イベント!



「コロナ退散!」と言いながら豆まきをしました

JA鳥取中央は三朝町特産の「三朝神倉大豆」の認知度向上と神シリーズ大豆製品の消費拡大を狙い、同町の北野神社で新型コロナウイルスの終息を祈った祈念大豆「節分豆 無コロナ息災」を製造しました。

味付け無しの炒り豆と、砂糖コーティングを施した二種類を作り、同町の各保育園や神倉商品を取り扱う店舗に無料配布しました。

この日は同町の賀茂保育園と、竹田保育園で節分イベントを実施。賀茂保育園では手作りの升を使用し年の数の豆を食べ、竹田保育園では園児がホットプレートで炒り豆作りを体験した後、外に向かって豆まきをしました。

2/10 (株)北栄ドリーム農場が出前授業



仕事内容を説明する堀口さん

北栄町でイチゴを栽培する(株)北栄ドリーム農場は、北栄町立北条中学校で出前授業を行いました。

これは様々な職業の方から話を聞き、働くことの意義や大切さを学ぶための授業です。生徒からのアンケートで選ばれた5つの業種の中に農業が選ばれ、同農場で働く、富永尚啓さん(36)と堀口翔太さん(31)が講師を務めました。二人は、1年生に向けてスライドを使いながら1年間の仕事の流れや仕事のやりがい、農業を始めたきっかけなどを話しました。

生徒からは「災害で出荷できなくなった野菜はどうなるのか」、「育てやすい作物は何かがあるか」などの質問が出されました。

2/25 2月期いきいき農業塾



田平さんによる講義の様子

JA鳥取中央は2月期いきいき農業塾を本所で開き、塾生11人が参加しました。

倉吉農業改良普及所より田平弘基普及主幹を講師として迎え、「注目される野菜の新品種について～春蒔き野菜作りに挑戦～」と題した講義が行われました。「土作り」や「播種・定植のポイント」、「病虫害防除」など高品質な農産物の栽培に必要な基礎知識を学びました。直売所では高い需要が見込めることから、直売所向けのめずらしい農産物も紹介され、塾生たちは栽培方法や料理法に関心を高めていました。

田平さんは「失敗を恐れず、まずは野菜作りを楽しみましょう」と塾生へ呼びかけました。

2/3 琴浦ブロッコリー2年連続4億円突破!



表彰を受ける福本さん

J A鳥取中央琴浦ブロッコリー生産部は2年連続で目標金額4億円を突破し、過去最高の出荷量20万506箱(1箱6kg)を記録しました! 今年も、春・初夏ブロッコリーが年明け以降の暖冬でロスもなく計画以上の出荷が続き、1月から7月末の上期の出荷量は12万1,162箱(同)と上半期で過去最高を記録。年間を通して販売金額は4億1,300万円となりました。総会では、奨励賞として福本克弘さん、優秀賞には手嶋正一さん、語堂一幸さん、財賀靖洋さん、藤吉和政さん、小前茂雄さん、Earth grace(株)、財賀敏昭さん、金屋ブロッコリー組合、松田雅彦さんに表彰状を贈呈。今後も面積拡大を図ることで継続出荷により市場から信頼される産地を築いていくことを全体で確認しました。

2/5 倉吉市学校給食食材供給部会総会



総会の様子

J A鳥取中央倉吉市学校給食食材供給部会は倉吉市で総会を開き、部会員、J A職員ら12人が参加しました。

総会では、2020年度の事業報告及び収支決算、次年度の事業計画及び収支予算、部会規約の改定などが協議され承認されました。会長の前田富貴恵さんは「会員同士が一丸となり、これからも子どもたちのために安心・安全な地元農産物を頑張って提供していきたい」と話しました。

同部会は、食農教育の一環として、地元小学生や保護者の方々と収穫体験を開催し、「地元農業」への理解を深める活動などを行っています。

2/12 北栄宮農C 中橋裕一さん鳥取県下 営農指導成果発表会最優秀賞!



堂々と発表を行う中橋さん

令和2年度鳥取県下営農指導成果発表会が行われ、北栄宮農センターの中橋裕一営農指導員が最優秀賞に輝きました!

中橋さんは、担当するラッキョウの営農指導の中で課題解決型営農指導から提案型営農指導を実践した結果と今後の課題などを分析。生産者からの課題の解決策を打ち出しながら、生産者自身も気づいていない「より良くなるアイデア」を提案するなど、期待を超えていく意識を持つことが大事ということを発表しました。中橋さんは山口県で開かれる中国地区J A営農指導員交流集会で県代表として発表します。また、優秀賞には琴浦宮農センターの中家裕基営農指導員が選ばれました。

2/5 コロナ下でも精力的に活動継続 ～こども食堂「ほっとここ」～



お弁当を手渡す田中さん(左)

倉吉市でこども食堂を運営する「ほっとここ」はコロナ下においても、子どもや高齢者の居場所作り、地域の人が寄り添える空間づくりに精力的に取り組み、毎月第一金曜日、第三土曜日に安価でおいしい料理を提供しています。幅広い年代が利用できるよう、11時30分から20時まで開いています。今年はコロナ下において、活動の休止を考えましたが利用者からの要望が多数あり、滞在時間の制限や消毒、検温などを徹底し運営を継続しました。お弁当は食農教育の意味も込めて地元産中心の食材にこだわり、具だくさんの季節感あるメニューで、スタッフが愛情込めて作っています。J A鳥取中央も地域貢献活動の一環として、旬の農産物、直売所で使用できる農畜産物引換券の贈呈など子ども食堂への食料支援に取り組んでいます。「ほっとここ」代表の田中昭子(72)さんは「今後も食事を通して自然と交流できる場を作り、未来ある子どもたちを一人一人大事に、地域で育てていきたい」と笑顔で話しました。

支所だより

女性会

各支部で総会



東伯支部総会の様子

各支部で女性会総会が開かれ、2020年度事業報告、2021年度事業計画などを協議し、承認されました。

2月20日には女性会東伯支部が総会を開き、魅力ある活動により組織の活性化を図っていくことを申し合わせました。

女性会 東郷支部

12月15日
フラワーアレンジメント教室



真剣に取り組みます

女性会東郷支部はフラワーアレンジメント教室を開き会員13人が参加しました。

「美花園（みくわえん）」の山本宏美さんを講師に迎え、見本を見ながら花台に花を挿していき、個性あふれる作品を完成させていました。

最後はお互いに鑑賞しあいながら楽しい時間を過ごしました。

琴浦町で梨援農作業



剪定誘引作業を行う倫さん(左)孝子さん(中央)とJA営農指導員

琴浦梨生産部員と東伯農業改良普及所、JA職員の有志44人が、園主が急逝した琴浦町の梨園で、剪定、誘引作業を支援しました。故灘尾修作さん(享年65)は妻の孝子さん(61)と梨を栽培しており、修作さんは長年にわたり同部の指導員を務めるなど、琴浦町の梨生産に貢献してきたおひとりでした。同部員から今後の経営について聞かれた孝子さんは「夫と40年間大事に育ててきた梨の樹を切りたくない」と想いを伝え、今回の援農が計画されました。当日は「二十世紀」など計75aの剪定、誘引作業を手分けして行い、孝子さんは、「援農のおかげで収穫が終わる9月まで経営について考える時間を与えて頂けたことにも感謝したい」と話していました。4年前に梨を作るために鳥取県にきた娘婿の福田倫さん(30)も「お義父さんから受け継いだ技術と地域の方から指導してもらった技術を生かしたい」と話していました。

2/8 ファーム山脇が全国優良経営体表彰 経営局長賞を受賞!



賞状を受け取る山脇茂則代表(中央)と従業員の方々

鳥取県中部総合事務所は、2020年度の全国優良経営体表彰の表彰授与式を開きました。県内では唯一、北栄町の「ファーム山脇」が経営局長賞を受賞! 県下では歴代3人目、10年ぶりの受賞となりました。代表取締役の山脇茂則さん(62)は「経営の内容が評価されうれしい。従業員全員で頂いたこの賞をばげみに、コロナ下でも前を向いて北栄町の農業振興に努めていき、若手の育成にも力を入れていきたい」と喜びを見せていました。ファーム山脇は2017年に設立し、ラッキョウを中心にハウス栽培でスイカや花き、小松菜などを栽培。きめ細かな生産管理を継続させながらハウス整備、EOD技術の導入など将来を見据えた設備投資をタイムリーに取り入れてきたことや、農業研修生の積極的な受け入れ、遊休農地の解消など地域に貢献していることなどが評価されました。

2/10 『家の光』活用大会



『家の光』の活用について学ぶ参加者

J A 鳥取中央は本所で『家の光』活用大会を開き J A 女性会の会員や役職員約 50 人が参加しました。

大会では『家の光』普及活動表彰と記事活用や地域貢献活動の優績女性会を表彰しました。また、会場と東京の家の光協会をオンラインで結び、同協会中国四国文化局の前田希美さんを講師に「丸ごと記事活用！『家の光』3月号を開いて」と題し、『家の光』の活用方法についてクイズを交えながら説明し、全国の女性組織の具体的な活動事例や誌面の新コンテンツの紹介も行いました。

2/8~17 地区座談会



座談会の様子

J A 鳥取中央は 2 月 8 日から 17 日まで各地区で地区座談会を開きました。J A 役員らが 2020 年度の事業報告や 2021 年度の事業方針をまとめた座談会資料を使い、内容を説明。今年度から始まる「シン・地方創生総合戦略」で新たな産地基盤の拡充を目指すことや、直売所に Q R コード決済を導入し多様化した消費者のニーズに合わせた店づくりを行うことなどを報告しました。質疑応答では J A 事業に関する活発な意見が出されました。みなさんから頂いた意見を踏まえて、今後の J A 運営に活かしていきます。

2/4 あなたの商品を広く知ってもらうための広告活用セミナー



参加者に PR 方法を紹介する山口さん

鳥取県食のみやこ推進課主催の「あなたの商品を広く知ってもらうための広告活用セミナー」に、J A 鳥取中央営農企画部営農企画課の山口絢子さんがパネリストとして参加しました！これは 6 次産業化に取り組む農林漁業者や農商工連携に取り組む商品事業者を対象にした Web セミナーです。山口さんはセミナーの第二部「広告事業者、現場担当者等による広告活用についてディスカッション」に参加し、昨年度同 J A が取り組んだ SNS を使った広告戦略を紹介。山口さんは「消費者に鳥取の商品をどう覚えてもらうか、印象付けが大事」と話しました。

2/20 各地区でスイカの定植開始



植え付けを行う山本生産部長

泊西瓜生産部は 2 月 20 日から、管内で最も早くスイカの苗の定植を始めました。同部のスイカは、ハウス内に二重でトンネルをかけることで地温を確保し、早期生育を可能にしているため、県内の他産地に比べおよそ一週間収穫が早いのが特徴。約 4,700 本の定植を計画し、今年は 3,000 箱（1 箱 15.5 kg）の出荷、1,163 万円の販売を目指します。山本昌介生産部長は妻の照子さんと一緒に約 2,900 本を定植し、「生産者は味にこだわった美味しいスイカを届けることで、お客様に明るい気持ちになってもらいたい一心で作っている。部員同士協力して今年も頑張りたい」と意気込みを話しました。J A 管内では琴浦地区が 2 月 24 日、倉吉地区と北栄地区が 3 月 1 日から定植を行っています。

2/17・25 役員による意見交換会



栗原組合長(写真上)圃場視察の様子と蔵増専務の面談の様子

J A鳥取中央の栗原隆政組合長は倉吉市で17日、女性担い手からJ Aへの意見や要望を聞き取り、生産現場を視察しました。同市で「大原トマト」を生産する倉繁浩美さんと柴田真弓さんは「J A職員の積極的な現場への巡回」、「インターネットなどを更に活用したPRと販売」などを要望。25日には、湯梨浜町で同J Aの蔵増保則専務が、羽合ぶどう部会部会長の神崎勝治さんと同部会検査部長の松本憲一さんと面会。要望として「J Aと行政との連携による農業振興への取り組みの強化」などがあげられました。今回集約した意見は各担当部署へ繋ぎ、課題解決へ向けて取り組んでいきます。

カニを食べて地域を応援！



海産物購入で地域を応援！

J A鳥取中央はコロナ禍で低迷する地域の観光事業を応援しようと土産店から約58万円分の海産物を購入しました。GoToトラベル事業の一時停止などの影響により売り上げが落ちている土産店への支援として取り組むとともに、J Aも旅行事業の中止や延期で収益が減少していることから、この支援を通じ旅行事業取扱高の上乗せを図りました。

農協観光の提携店舗から「山陰・境港からの贈りもの」として、ズワイガニのボイルや鍋セットなどの商品をリストアップ。各支所、各部署、各営農センターの合計24部署から135個を注文しました。

2/12 北栄町産ストックを地元の子どもたちに贈呈



ストックを贈呈する平信部会長(中央)ら

北栄町はコロナ禍で販売が低迷している花き産業の支援策として、「北栄町花いっぱい支援事業」に取り組んでいます。町内の花農家や花屋と連携し、福祉施設や学校施設などに花を贈ることで生活の中での花の価値と同町の花事業者を知ってもらうことが目的です。今回は同町を代表する花「ストック」を使ったフラワーアレンジメントを29施設に贈呈し、こども園の園児たちとの「教えないフラワーアレンジメント教室」を開きました。2月12日には、同町立大谷こども園で大栄花き部会の平信誠史部会長らが園児たちへストックを手渡しました。その後、「花工房あげたけ」による「教えないフラワーアレンジメント教室」も開催。梅津李実さん(6)は「花のいい匂いがしたし、一本ずついろんな花をキレイに挿せて楽しかった」と笑顔を見せていました。

2/1 農業者版新型コロナウイルス感染時対応マニュアル作成



営農指導員からマニュアルの説明を受ける井上部長(左)

J A鳥取中央は県内初の農産物出荷者向けの新型コロナウイルス感染時対応マニュアルを完成させました。J A生産部に加入し農産物を出荷する約2,200人の農家に配布。生産者やその家族がコロナに感染した場合でも、安心して営農が継続できる体制を整えるとともに消費者への継続した安定供給の実現を目指します。同マニュアルは鳥取県中部農林局、倉吉保健所の監修のもとに作成し、出荷者本人が感染した場合や、同居家族が感染した場合など6つの状況に則した出荷作業の流れを記載。それぞれの状況に応じて明確に作業の可否や、陽性と判断されてから作業ができるまでの期間など具体的に記載することで迅速な初期対応が可能になります。白ネギを栽培する同J A白葱生産部の井上寿樹生産部長は「感染した時でも出荷できる体制を具体的に示してくれたのはありがたい」と話していました。

疲労軽減ストレッチ～梨農家編～



YouTubeチャンネルのQRコード

倉吉・東伯農業改良普及所は、梨の剪定作業や交配、摘果、袋掛け等、春先からの作業の疲労回復のためのストレッチ動画を作成しました。大山リハビリテーション病院の森田鉄二理学療法士監修のもと農作業の合間に簡単にできる首、肩、腕のストレッチ全9種類を6分間にまとめ、鳥取県のYouTubeチャンネルで公開しています。

今後も腰や足、他品目の農家を対象にした動画や農業機械の使い方動画なども公開を予定しているそうです！ぜひ一度お試しください！

2/22 東郷果実部全品種で過去最高単価記録！



宮脇湯梨浜町長(中央)と湯梨浜町うまい梨づくり共進会で表彰された方々

東郷果実部は1箱(10kg)当たりの平均単価が栽培する全ての23品目で過去最高を記録しました！主力の「二十世紀」の平均単価は、前年対比15%増の5,351円、「新甘泉」は同比9%増の6,152円と高単価を記録。全ての品目を合わせ17万9,586箱(同)、9億7,180万円の出荷、販売となりました。第18回通常総会では、湯梨浜町うまい梨づくり共進会表彰と東郷梨生産向上運動表彰が行われました。生産部員一人一人が「大玉、高糖度、高品質、多収量」と4拍子揃った梨づくりを実現することを申しあわせ、2021年産は全ての品目を含め18万4,620箱(同)、9億3,038万円の出荷、販売を計画しています。

2019年産長芋、「ねばりっこ」販売実績



「ねばりっこ」

長芋生産部の2019年産の長芋、「ねばりっこ」の販売実績は10万3,217箱(1箱10kg)、3億8,813万円となりました。長芋、ねばりっことも11月12月のお歳暮と6月下旬から8月上旬にかけてのお中元を重点的に販売しました。2021年度は収量確保、生産者の生産意欲の向上に努め、栽培・増殖技術の確立を図っていきます。また、長芋、「ねばりっこ」ともに販路の維持拡大に努め、のぼりやポスター、パンフレットなどの販売促進用品を使って消費宣伝活動を実施。SNS等も活用しながら新たな消費拡大宣伝にも努めていきます。

2020年産らっきょう販売実績



らっきょう生産部会の2020年産の販売実績は、洗いらっきょう、根付きらっきょう合わせて973t、5億5,183万円となりました。2020年産は、暖冬傾向であったことから生育は順調に進み全体としては分球数は多め、玉肥大は中程度のらっきょうに仕上がりました。新型コロナウイルスの影響で、漬け方講習会や試食宣伝会が全て中止。リモートでの会議やInstagramなどのSNSを使った販売促進を行いました。2021年度は生産履歴の記帳により『安全・安心』『信頼』のおけるらっきょう生産に取り組んでいきます。



JAグループ鳥取のJA自己改革の取り組み



平成27年に開催した第48回JA鳥取県大会以降、JAでは組合員・地域に寄り添い求められる組織であり続けるためにJA自己改革に取り組んできました。

今回は令和2年11～12月のJA自己改革の取り組みを一部紹介します！

JA子どもフェスタで受賞者を表彰



令和2年12月5日、琴浦町で「JA子どもフェスタ」を開き、第56回わかば作文・図画コンクールとJA共済鳥取県小・中学生第64回書道・第43回交通安全ポスターコンクールの受賞者を表彰しました。また、県畜産ふれあい祭家畜の絵コンクールの表彰も行いました。

わかば作文・図画コンクールでは、作文が県内51校217点、図画が84校から416点の応募がありました。作文では八頭町立郡家東小の中村さん、図画では鳥取市立宮ノ下小の井上さんが最優秀賞（県知事賞）を受賞しました。

特産品で応援！ 県中学校駅伝



令和2年11月11日に県中学校体育連盟が米子市で開いた県中学校駅伝競走大会に協賛し、県産米など県内農産物の提供を通じて、次代を担う若者を応援しました。

男子の部優勝の八頭町立八頭中、女子の部優勝の鳥取市立桜ヶ丘中に県のオリジナル品種米「星空舞」や決勝ゴールテープを提供しました。また、生徒数150人以内で最高位の学校（優勝を除く）であった大山町立名和中（男子の部）、米子北斗中（女子の部）には、「わかば賞」として梨「王秋」を贈りました。

コロナ禍で大学生に生活支援



令和2年12月21日、JAグループ鳥取と県生協は県内の大学へ生活支援物資を提供し、コロナ禍で生活に困窮する大学生を支援しました。

提供先は鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学、鳥取看護大学。JAグループ鳥取は、県産ブランド米「星空舞」の1袋2kg入り330袋とパックご飯660個を提供。県生協はレトルトカレーなどの保存食を提供しました。

学生からは「コロナ禍でアルバイトができない中、大変助かりました」「心が温くなりました」等、感謝の言葉が多数届きました。



「JAがあって良かった」「JAはなくてはならない」と実感していただけるよう、組合員の皆さんや地域の方々からいただいた「声」をもとにJA自己改革を進めていきます。今後も引き続きJA活動へのご意見・ご要望をよろしくおねがいいたします。

JA鳥取中央からのお知らせ

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧下さい。
また、ご契約の際には「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧下さい。

JA自動車共済に『日常生活賠償責任共済特約』新登場！

○日常生活のトラブルを幅広く保障します(一例)

※住宅以外の不動産の所有、使用または管理を除きます。



外出中の自転車事故



ペットの犬が他人を
噛んでケガをさせた



お店で買い物中に
誤って商品を壊した



遊んでいて他人の家
の窓ガラスを壊した

高額化する賠償金額

例えば
自転車事故による
賠償金額
9,521万円
(神戸地方裁判所
2013年7月4日判決)

※1 ※2

お支払いできる共済金限度額

共済金額 2億円

自転車共済(保険)の加入義務化が進んでいます。

(2020年9月30日現在 鳥取県は努力義務化)

ぜひ、JA自動車共済『日常生活賠償責任共済特約』

へのご加入をご検討ください。

※1 出典：日本損害保険協会HP ※2 裁判において支払いを命じられた金額(概算額)であり加害者が実際に支払う金額とは異なる場合があります。

ポイント

- ・自動車共済で、賠償額が高額化している自転車事故の賠償リスクに備えることが出来る。
- ・この特約によるお支払いがあっても、自動車共済の等級はダウンしません。(ノーカウント)
- ・安心の示談交渉サービス付き。※被共済者の過失がない場合などは、行うことが出来ません。

詳しくは、JA鳥取中央 最寄りの支所共済課までお問い合わせください。

[20312500271]

JA共済

理事会報告

提案事項は原案どおり承認されました。
第14回(令和3年1月29日(金)開催)

- 1) 令和3年度座談会資料について
- 2) 令和3年度事業計画(収支予算)について
- 3) 令和3年度手数料率の設定について
- 4) 借入最高限度額について
- 5) 信用の供与等最高限度額について
- 6) 貸出利率の最高限度について
- 7) 令和3年度余裕金運用方針について
- 8) 令和3年度JA鳥取中央 コンプライアンス・プログラムの制定について
- 9) 令和3年度内部監査方針および計画書について
- 10) 令和2年度 第3-四半期決算監事監査改善指摘事項に対する措置方針について
- 11) 職員給与規程の一部変更について
- 12) 嘱託・臨時・パート職員の勤務規程の一部変更について
- 13) 労働基準法違反に係る法令等遵守態勢等の確立及び再発防止策に関する鳥取県への報告について
- 14) (株)グリーンコープ美容事業改革に伴う固定資産の売却について
- 15) JA教育ローン(カード型)の貸出金利率の設定について
- 16) 資金の貸出しについて
- 17) 利益相反契約にかかる承認について
- 18) その他

人事異動

【退職】(令和3年1月31日付)

審査役 山口 真理子
泊支所 支所長

【異動】(令和3年2月1日付)

審査役 本田 典子
新部署：泊支所支所長
旧部署：東郷支所共済課

金融部からのお知らせ

JA鳥取中央では、全店舗の窓口に飛沫防止パネルや空気清浄機、非接触型検温システムを設置し、新型コロナウイルス感染対策を徹底しております。

組合員や来店者のみなさまに安心して支所に来ていただけるよう、対策を万全にしてお待ちしております。



空気清浄機を新たに設置しました!

移動スーパーとくし丸
販売パートナー(個人事業主)募集!

詳しくは

とくし丸 で検索

お問い合わせ先

Aコープ各店

JA中央サービスの車検・点検で得しちゃおう!!

お得1. 車検をご予約いただくと、当社給油所でご利用できる給油3ヶ月10円引/L券進呈!

お得2. 代車不要・車両を工場まで持ち込み、引取り可能・車検後の洗車不要の方は車検代金よりそれぞれ1,000円引き!

お得3. 法定点検(6ヶ月・12ヶ月)を受けられた方は当社給油所でご利用できる給油3ヶ月5円引/L券進呈!

※車検された車両への給油に限りご利用できます。また、法人所有の車両・営業車両は対象外とさせていただきます。

※尚、代車が必要なお客は車庫・自庫に制限がございますので、事前にご確認ください。

ご利用は近隣の自動車センター・事業所まで!

中央自動車センター TEL 28-3221 三朝自動車事業所 TEL 43-1831 瀬郷自動車センター TEL 32-0713
瀬郷自動車センター(旧機) TEL 27-0866 北条自動車センター TEL 49-1169 夢浦自動車センター TEL 53-1623

一生使うお水、こだわりませんか?

組合員の皆様へ

いつもの水を「トリムウォーター(電解水素水)」に。
あなたとご家族の健康を、毎日支えつづけます。

効果/胃腸症状の改善 ●胃もたれや胃の不快感をやわらげます。
●胃腸の働きを助け、お通じを良好にします。

医療機器製造販売認証番号: 229AGBZX00069000

※本器は医薬品医療機器等法(旧薬事法)第2条第4項の政令で定める医療機器であり、第6項の指定した管理医療機器です。

【お問い合わせ先】

鳥取中央農業協同組合 各支所 組合員課 まで



連続生成型電解水素水浄水器

TRIM ION
GRACE

～水を科学する～
株式会社日本トリム

JA鳥取中央
葬祭センター

TEL (0858) 47-0983
FAX (0858) 47-0981

0120-80-9831 通話料無料
24時間受付



メモリアルホール
報恩舎
〒682-0017
倉吉市清谷町2丁目143
TEL (0858) 47-4300
FAX (0858) 47-4320



メモリアルホール
福本
〒682-0604
倉吉市福本220-1
TEL (0858) 48-2100
FAX (0858) 48-2101



メモリアルホール
あじさい
〒689-2303
琴浦町徳方282-13
TEL (0858) 53-1184
FAX (0858) 52-3943

直売所探検隊



楽市楽座

東伯郡三朝町大柿591
TEL/43-2286 定休日/なし
営業時間/12月~2月 8:30~17:00
3月~11月 8:30~17:30



苺も自分もゆっくり大きく

やまもと ひでし
山本 秀司さん(46) 三朝町助谷

今回ご紹介するのは、三朝町で苺や花卉を生産し、直売所を中心に出荷している山本秀司さんです。苺は章姫をハウス2棟で、花卉はストックやトルコキキョウを中心に3棟で栽培しています。山本さんは元JA職員。勤務の傍らで米栽培や父母の手伝いをしていましたが、6年前にお父さんが亡くなり、施設栽培を継続するために退職して本格的に農業に取り組みました。

「栽培技術の基礎は母親と普及所に学び、先輩のアドバイスをいただきながら、あとは自分なりに考えて栽培しています。生産では出来るだけ化学肥料や農薬を使わないようにしています。常に作物の状態を見てその時に必要な作業をすることが大切ですね。今年は雪が多くてハウスの除雪が大変でした。温度が戻って、花卉がお彼岸に間に合

うように大きくなってほしいですね」と語る山本さん。ハウスは加温していませんが、その分ゆっくり大きくなり、甘味の乗った苺ができるのだとか。

農業のやりがいについて何うと「やはりお客さんに美味しいと言われるのが一番ですね。苺は酸っぱいと思っていたお客さんが甘さにびっくりされたり、指名で注文を受けたりするとやりがいを感じますね」と満面の笑みの山本さん。

今後の目標を何うと「施設を更新して、より品質の良い物ができるようにスキルアップを更に重ねていきたいですね。安全安心で美味しい苺栽培にこれからも励みますのでよろしくお願いします」育てている苺同様に、ゆっくりでも着実に力をつけていく山本さん。これからも頑張ってください。応援しています！

ここで村中店長からひとこと「進物や入学祝などの贈答品に甘くて美味しい苺はいかがですか。皆様の来店をお待ちしていまーす♡」



新鮮野菜がいっぱい



山本さんの美味しい苺

「三朝町の農産物直売所へ Let's Go!!キャンペーン」

三朝町内の農産物直売所(三朝おひさま市、道の駅三朝・楽市楽座)で1,000円以上のお買い物で、三朝町の特産品など抽選で39名様にプレゼント!

応募期間 令和3年3月23日~5月16日

*詳しくは 三朝おひさま市 ☎0858-43-2355
道の駅三朝・楽市楽座 ☎0858-43-2286
または、三朝町役場ホームページをご覧ください。

直売所情報

直売所では

旬のイチゴ、山菜、お彼岸用のお花

など、各種取り揃えております。

みなさまのご来店をお待ちしております!



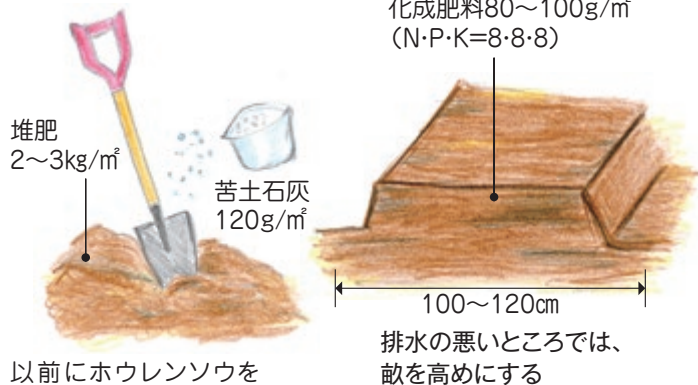
旬鮮プラザ満菜館 48-2525
楽市楽座 43-2286
あぐりポート琴浦 55-6336

旬鮮プラザよってみたい菜 47-4197
ハワイ夢マート 35-3535

あなたもチャレンジ! 家庭菜園 ホウレンソウ

ホウレンソウは西南アジアが原産地の、1年生野菜です。生育適温は15～20℃で、10℃くらいの低温でもよく育ちます。土質は選びませんが、水分が適当にある砂地だとよく生育します。土の酸度はpH6～7範囲が最適で、pH5.5以下では生育不良になるので、ふつうの畑では石灰を施します。

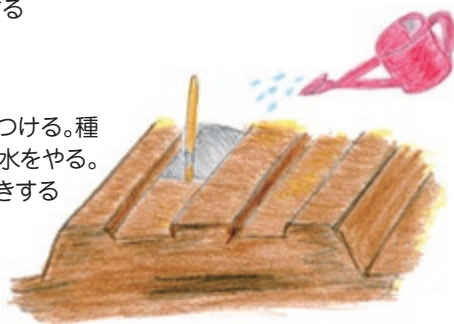
畑の準備



以前にホウレンソウを作って育ちの悪かった場所では、石灰を増量する

種まき

鍬幅に、浅くまき溝をつける。種まき前にじゅうぶんに水をやる。1～2cm間隔にばらまきする



間引き・追肥



▲本葉1枚ころの図

子葉が開ききったころ、込みすぎたところや発芽遅れ、徒長株を間引く。本葉1枚ころに2～3cmの株間に間引き、条間に1回目の追肥(化成肥料50～60g/m²)をする



本葉4、5枚ころ、株間が4～5cmになるよう間引きをする。1回目と同様に2回目の追肥をする

JAからのお知らせ

JA鳥取中央版

第16回『就農相談会』

毎月第2水曜日開催

日時:令和3年4月14日(水)

13:30～16:00

JA鳥取中央本所 3階会議室

(倉吉市越殿町1409)

農業に興味のある方、就農を考えている方、
お気軽にお越しください!

※相談会の参加には開催日から10日前までに事前申し込みが必要となります。JAのHP、各支所、各営農センター、直売所、市役所、役場等に申込用紙があります。

表紙の写真説明



左から いちはし 市橋 つとむ 勉さん(70)
やました ひで お 英夫さん(71)
山下

3月号の表紙は、羽合苺生産部会のお二人です! 同部では「章姫」「紅ほっぺ」「とっておき」を約44aで栽培しています。部会のモットーはなんといっても“安心安全!”朝採りの新鮮なイチゴを軸付きで収穫し、シートを敷いたコンテナに入れて丁寧に作業することで安心して食べていただけるイチゴを消費者に届けています。そんなお二人から、「気温が下がって糖度がじゅっくりと上がるこの時期のイチゴが一番おいしい! ぜひ、ハワイいちごを味わってください!」とコメントをいただきました!お見かけの際はぜひご賞味ください!

読者からの お便り紹介

今月もたくさんのお便りありがとうございました。

今月のお題

あなたがお手本に
したいと思うこと

を教えてください。

■お姉ちゃんの行動の早さです。

(isogashi isogashin)

■「近所の94歳の一人暮らしの女性が元気に畑を耕し、食事に気を配り、時におすそ分けまでして下さる。こんな生き方はお手本に思っています。」
(たべすぎはあはさん)

■新型コロナウイルスの予防でマスク、手洗い、うがいをしっかり行っている孫達を見習いたいです。
(山根さん)

投稿者からの声

◎私も子どもと一緒に家庭菜園にチャレンジしたいと思いました。

(タカさん)

◎雪害にも負けず白ネギを出荷されている笑顔の表紙がとても良かったです。

(小浜さん)

◎農業を目指す若者を応援したいです。

(きいなつちさん)

◎「おうちごはん！鮭の酒粕みそ鍋」おいしかったです。

(市田さん)

◎「琴浦ブロッコリー農家イチャオシ!!レシピ☆」が参考になりました。試してみます。

(リヨールさん)

◎トピックスを拝見すると、色々と活動をしておられ励みになります。

(ランニングさん)

■人の話を親身になって聞く人の姿(ヤスさん)

■義母は、いつもおだやかで手持ちの服も少なく大事に使っておられました。丁寧に暮らしたいものです。
(きようこさん)

■独居高齢者の見守り、お世話をし、施設入居者の様子を見に行ったりして弱者を助けている人です。
(倉本さん)

■同じ職場にいる女性です！言葉づかいや、ちよつとしたしぐさがとても品がよく行儀のいい人で見習いたいと思います。
(ゆんゆんさん)

■家の中でも「化粧をし、ジャージで過ごす」と「近所の方が言われ、本当に見習いたい」と思いました。
(みつちゃんさん)

【次号のお題】

「期待が外れて困ってしまったこと」

という事で、次号のお題は「期待が外れて困ってしまったこと」を大募集です。たくさんのお便りをお待ちしております。

暮らしと川柳

課題「手」

鈴木 公弘 選

勝ちに行く一手が後手になった駒
好きな事出来るこの手がありがたい
若作りしても手のシワ隠せない
ご褒美はお手伝いしてくれたから
手に余る芋づる式の議員さん
巣籠りへ手のり文庫が物という
頑張るぞこぶしで膝に喝を入れ
張り切り過ぎて太鼓打つ手に痺れる
平和を願い繋ぐ手と手は緩めない

倉吉市 石田 稔子
湯梨浜町 志田美智子
倉吉市 高多 和弘
湯梨浜町 和田 三郎
琴浦町 安岡 久子
北栄町 西村奈保子
倉吉市 堀 かずこ
倉吉市 山崎恵美代
湯梨浜町 川口 亜矢

【今月の佳吟】

一生をみんなこの手が知っている

倉吉市 横山智恵子

(評)

生まれてこのかた、手があるのは当然と思っている。よく見渡せば傲慢な考えかもしれない。ただ、この欄では一般論としての句評とするため、病气や薬害などによって不自由な暮らしを強いられている方々に対する手への私見は別稿に譲る。しかるに、多くの方にとって自分史を支える両手には感謝して余りあるものがある。反面、手は悪事に染まる。人生峠に差し掛かったら手を見つめてみよう。親の期待に報いられたと思うとき、子々孫々への希望の発行本となるはずだ。
(投句総数62)

【令和2年度ドリムちゅうおう川柳大賞】
愛冷える神社の誓い忘れたか

倉吉市 高多 和弘

*追って盾を贈呈します

※次号の課題は「たまご」です。締切3月23日(火)必着

住所、氏名雅号もフルネームをご記入下さい。電話番号、作品1人三句以内を、裏表紙にある応募用ハガキでお送りください。応募をお待ちしております。

◆今後の課題「友」 締切4月20日(火)予定



小田 秀 料理探究家

ヘルシー! おしゃれ♥なCaféレシピに定評がある。
安全安心な食材を用いた、健康を意識した料理を探究中。料理教室を開催している。管理栄養士、サプリメントアドバイザー、健康運動指導士などの資格を持つ。

穏やかな日ざしに春の訪れを感じる季節となりました。木の芽をのせて焼いた鯖をご紹介します。さらに、グリーンアスパラガスを添えて春らしく仕上げました。

鯖の木の芽味噌マヨネーズ焼き

旬の鯖を木の芽味噌だれで焼くことにより、ご飯がすすむこと間違いなし! 木の芽のさわやかな香り、コクのあるマヨネーズをまとった鯖がベストマッチ♪春の香りのする焼き物です。

材 料(2人分)

鯖……………2切れ(200g)
塩……………小さじ1/6
酒……………小さじ2
※ 味噌……………大さじ1/2
マヨネーズ……………大さじ2
木の芽……………8枚
生姜……………10g
木の芽……………2枚

【付け合わせ】

グリーンアスパラガス…4本



作り方

- ① グリーンアスパラガスは、2～3等分に切って、好みのかたさにゆでる。
- ② 鯖に塩、酒をふって約10分置く。
- ③ 木の芽、生姜はみじん切りにして※を混ぜ合わせる。
- ④ 鯖の水気をふいて3～4分焼き、七分通り焼いたら裏返し、③を等分に塗って、焼き色がつくまで3～4分焼く。皿に盛り付け、木の芽を味噌の上にトッピングし、グリーンアスパラガスを添える。

ポイント

焼き時間は鯖の様子を見ながら調整してください。固くならないようにふっくらしっとり焼き上げると美味しくなります。鯛・鮭・かじきなど時期の旬の魚を使われていいですよ。

木の芽

【保存方法】

木の芽は、湿らせたキッチンペーパーに包み、保存袋に入れて冷蔵庫へ。長期保存したい場合は、よく水で洗い湯に通してから冷水に取り、ラップして冷凍しましょう。凍った状態のままでお使い下さい。

【香りの出し方】

洗って水気をよく切り、木の芽を空気で押しつぶすような形で、手で挟みポンッと叩くと、葉の組織が壊れて風味を引き出すことができます。

※ キリトリ

●アンケートにお答えください。

「ドリームちゅうおう3月号」良かった記事は? (複数回答可)

- | | |
|---|--|
| ☐ 表紙 | ☐ 直売所探検隊 |
| ☐ 特集 | ☐ あなたもチャレンジ! 家庭菜園 |
| ☐ ～次代を担う～&旬感きりり人 | ☐ 読者からのお便り紹介 |
| ☐ 女性会・青壮年部の活動紹介 | ☐ 暮らしをうたう川柳 |
| ☐ 地域情報発信室 | ☐ 旬をたべちゃお♪ おうちでごはん! |
| ☐ トピックス | ☐ クロスワードパズル |

良かった理由:

●クロスワードパズルに応募される方はお書きください。

(※応募されない方は空欄で構いません。) ※クロスワードの正解者の方には、抽選で「JA直売所加工品セット」をプレゼント致します。

A	B	C	D	E

●次号のお便りのお題「期待が外れて困ってしまったこと」を教えてください。また、「暮らしをうたう川柳」への応募、JA鳥取中央グループに対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。

(ペンネーム:)

※ドリームちゅうおう誌面にて発表することがありますのでご了承ください。

※ キリトリ



アタマの体操

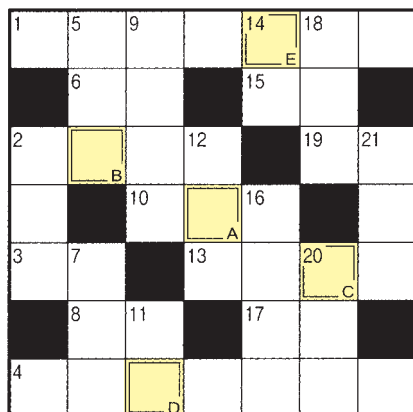
クロスワードパズル

今月のプレゼントは

JA直売所加工品セット



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



A B C D E

--	--	--	--	--



2月号の答え

シュンミン

タテのカギ

- 2 お稲荷さんのお使いです
- 5 小さな子どもに読み聞かせることも
- 7 ーを聞いてーを知る
- 9 ひいて木を切ります
- 11 赤、白、八丁といえ
- 12 授業が始まる前に鳴ります
- 14 4月1日のエイプリルフルにはついてもいいとか
- 16 金太郎は長じて坂田—となりました
- 18 にっこりするとへこみます
- 20 精製してガソリンを作ります
- 21 日光市の景勝地の一つ、—の滝

ヨコのカギ

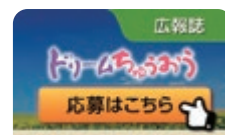
- 1 東京の桜の名所。西郷隆盛像があります
- 2 ランチュウやコメットはこの一種
- 3 ドライバーで締めたり外したり
- 4 威力があつて速い球のこと
- 6 ムジンのムが表す物
- 8 矢をつがえます
- 10 スマホの検索—を削除した
- 13 うずら豆は、—豆の品種の一つです
- 15 靴を数えるときに使う言葉
- 17 1000kgは1—です
- 19 漢字で書くと木瓜。美しい花が咲く植物です

応募要項

下記「応募ハガキ」に、クイズの答えをお書きの上、応募締切までに切り取ってポストへ投函するか、各支所へお持ち下さい。
※通常ハガキ・FAX・メール・HPからも応募可能です。クイズの答えの他「良かった記事・住所・氏名・電話番号」をお書きの上ご投函下さい。

- 応募締切 3月30日(火) 当日消印有効
- 応募先 〒682-0867 鳥取県倉吉市越殿町1409 JA鳥取中央 広報課宛
- FAX 0858-23-3070
- Eメール kouhou@ja-tottorichuou.or.jp

※当選は発送をもってかえさせていただきます。※個人情報については、プレゼントの発送、及び「ドリームちゅうおう」の紙面作り以外には使用しません。



HPでも応募できます



中四国版
紙面には、JA
鳥取中央の記事が
随時掲載されて
います！
ぜひご覧ください！！

お近くの新聞販売店
から毎日お届けします。

購読料 月極

2,623円 (税込)

[本体価格2,429円]

—購読のお申し込みは、各支所 組合員課までお問い合わせください。—



購読料 年額

8,782円 (税込)

誌代1年分を
年間予約として
購読料をお支払い
いただくと普通月号
1か月分が無償
となります

※原則として、年間予約購読(前
納)の中途解約はできません。
※1冊からでもご購入できます。

郵便はがき

料金受取人払郵便

倉吉局
承認

664

差出有効期間

2023年2月

7日まで

切手不要

6 8 2 8 7 9 0

鳥取中央農業協同組合

総務部 広報課 宛

倉吉市越殿町1409

住所	
氏名	
電話番号	

※個人情報については、プレゼントの発送、及び「ドリームちゅうおう」の紙面作り以外には使用しません。